

法事(年忌法要)・お正月・お盆・お彼岸 お内仏のお給仕

法事を勤めるにあたって、お内仏のお飾りをいたしましょう。

ご本尊(阿弥陀如来)の前にお仏飯を備え、花瓶に生花を挿すなどの平常のお飾りに、①から④を準備いたします。

① 打ち敷



打ち敷をご本尊の前にある卓に掛けます。色目は紅、紫、金襴など指定はありません。

② 朱蠟



蠟燭は朱蠟(赤色の和蠟燭)を使用します。

*朱蠟を用意できない場合は、白色の蠟燭を代用します。

③ 供笥(お華束)

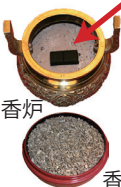


小餅(白餅)を盛るための仏具で、ご本尊の両側に備えます。

*小餅を用意できない場合は、和菓子・果物などを備えます。

*お正月は、供笥を使用せずに折敷に鏡餅をのせて備えます。

④ 焼香



香炭 *火種になります。

香炉・香盒(お香)・香炭を用意します。法要中、参詣者に焼香をしていただきます。

*香炉・香盒をのせるお盆などを用意しておく、焼香を参詣者の手元に回すこともできます。

香盒とお香



*家族や親戚からの御供は、お内仏の横側にお盆や机などを用意して供えましょう。

*お内仏の形状によって、写真のようにお飾りできない場合があります。

*年忌法要の数え方は、1周忌は1年後、3回忌からは亡くなった年を1として、順に7・13・17・25・33・50回忌となります。また、地域によっては23・27・37・43・47回忌を勤めるところもあります。

*ご質問は住職にお問い合わせください。

【参考書籍】『真宗の仏事』(東本願寺出版部発行)

お寺の本堂で法事を
勤めることができます
ご相談は住職まで

真宗大谷派 西願寺

〒591-8042 堺市北区大豆塚町1-6-1

HP <http://www.sakai-saiganji.com>

TEL 072-252-7675

【検索】真宗大谷派西願寺

※真宗では「仏壇」のことを「お内仏」と言います。